

中学校 佐倉学と関連の深い主な学習

教科	分野	編・章・節	学習内容
社会科	地理	第3編・4章 地域の在り方	1 身近な地域の課題を見つける 2 課題を調査する 3 要因を考察する 4 解決策を構想する 5 地域の将来像を提案する
		歴史	第1章・2節 身近な地域の歴史
	第2章・2節 ～第7章・3節 日本の歴史分野		*佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」では、 原始から第二次世界大戦後まで、時代ごとに 当時の佐倉の様子や活躍した人物にふれてい ます。
	公民	第1章・2節 私たちの生活と 文化	1 私たちの生活と文化の役割 ・日常生活の中で様々な文化が見られること に気づき、関心を持つ。
		第3章・3節 地方自治と私たち	1 私たちの生活と地方自治 2 地方自治の仕組み 3 地方公共団体の課題 4 住民参加の拡大と私たち
		第5章・3節 これからの地球社 会と日本	2 より良い地域社会を目指して ・地域社会の多様性 ・多様性の尊重 ・持続可能な社会のために

○「特別の教科 道徳」における佐倉学

教材名「印旛沼の環境を考えよう」（自然愛護）

教材名「町への想い」（郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度）など

○「総合的な学習の時間」における佐倉学

各中学校において、「印旛沼の竜神伝説」などの、特色ある学習が行われています

学びの紹介 「印旛沼 竜神伝説」

干ばつで困っている農民のため、竜神様は雨を降らせました。しかしそのことで、大竜神の怒りをかい、体を3つに引き裂かれ地上に落とされました。龍角寺（栄町）竜腹寺（印西市）龍尾寺（匝瑳市）で祀られています。佐倉市では、この竜神伝説にちなみ、オランダ風車の隣の橋は、飯野竜神橋と名付けられています。

